

記者発表説明資料2025.12.24

# 自治体連携プラットフォーム構築事業について

－ 地域共創社会の実現に向けて －

四万十市

阿蘇市

八代市

(一社) SCBラボ

崇城大学IoT・AIセンター

# 地域社会の現状

---

- 首都圏への一極集中，人口減による人手不足や財政難等に起因した地域社会の疲弊（2040年問題）
- 失われた30年による地域社会の疲弊
- 地域共創社会の実現が急務（自助・公助から共助へ）

# 地域共創社会とは？

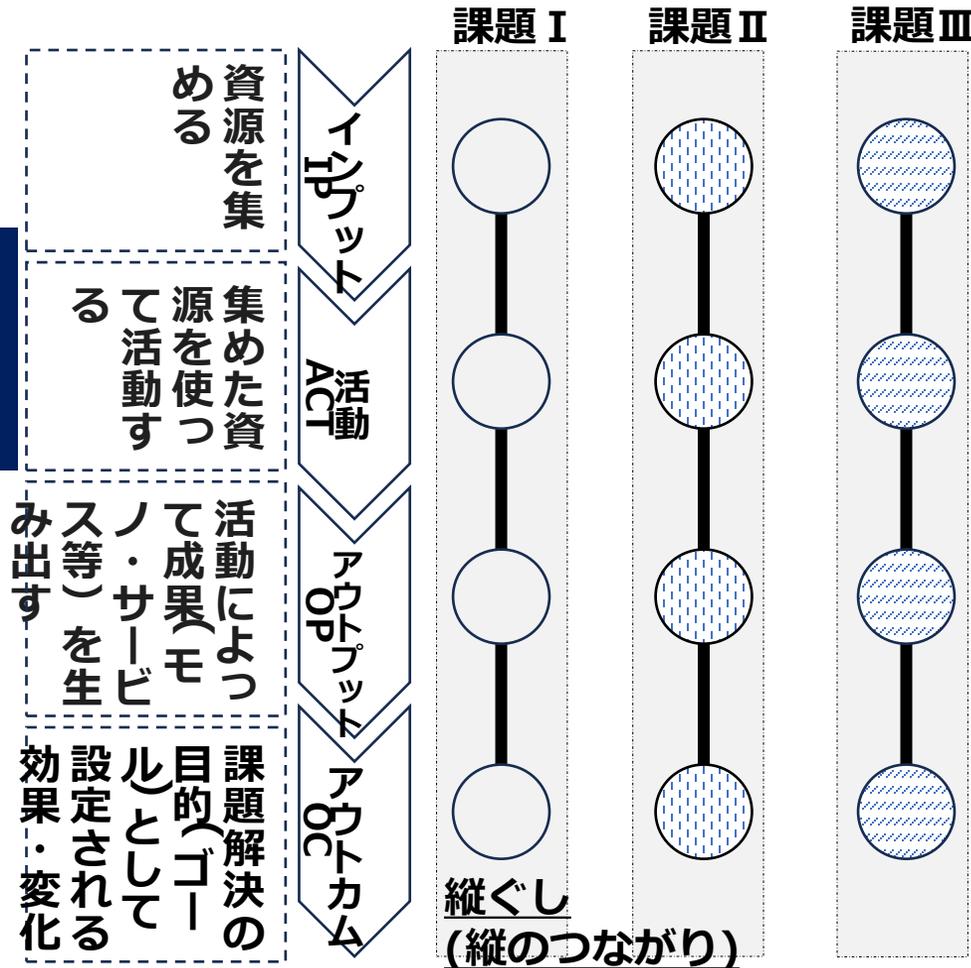
---

行政だけでは対応しきれない複雑な社会課題に対し、企業・教育機関・金融機関・住民・NPOなどが連携・協働して、地域の**課題解決**と**新たな価値創造**  
**(イノベーション)**に取り組むことを目指す社会

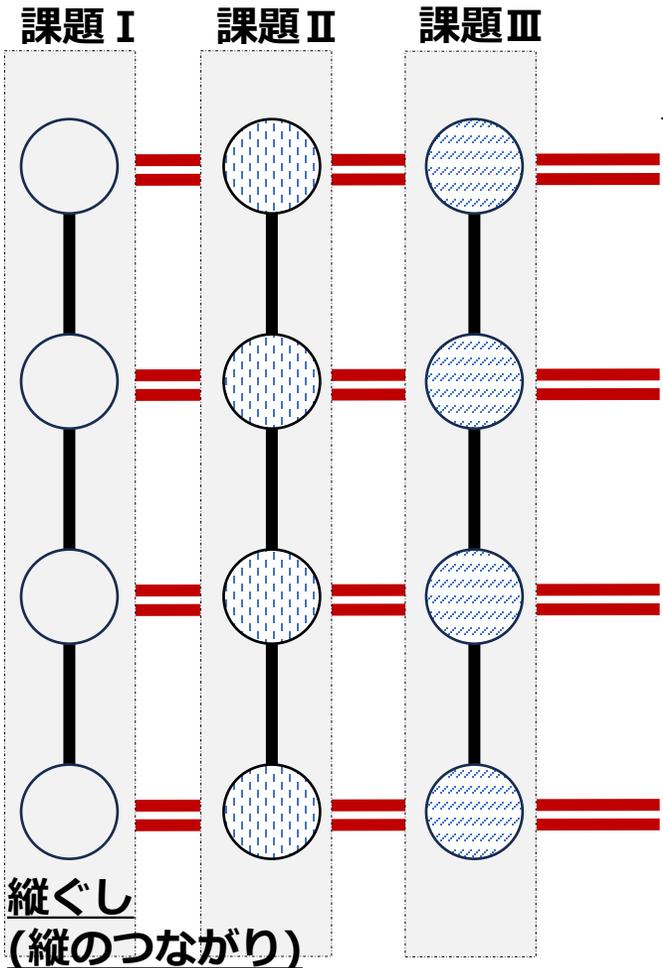
# 課題解決とイノベーション



## 地域課題の解決 (ロジックモデル)



## 新たな価値の創発 (フレームワーク)



ゆるやかな  
つながり理論  
(P2P・SCB理論)

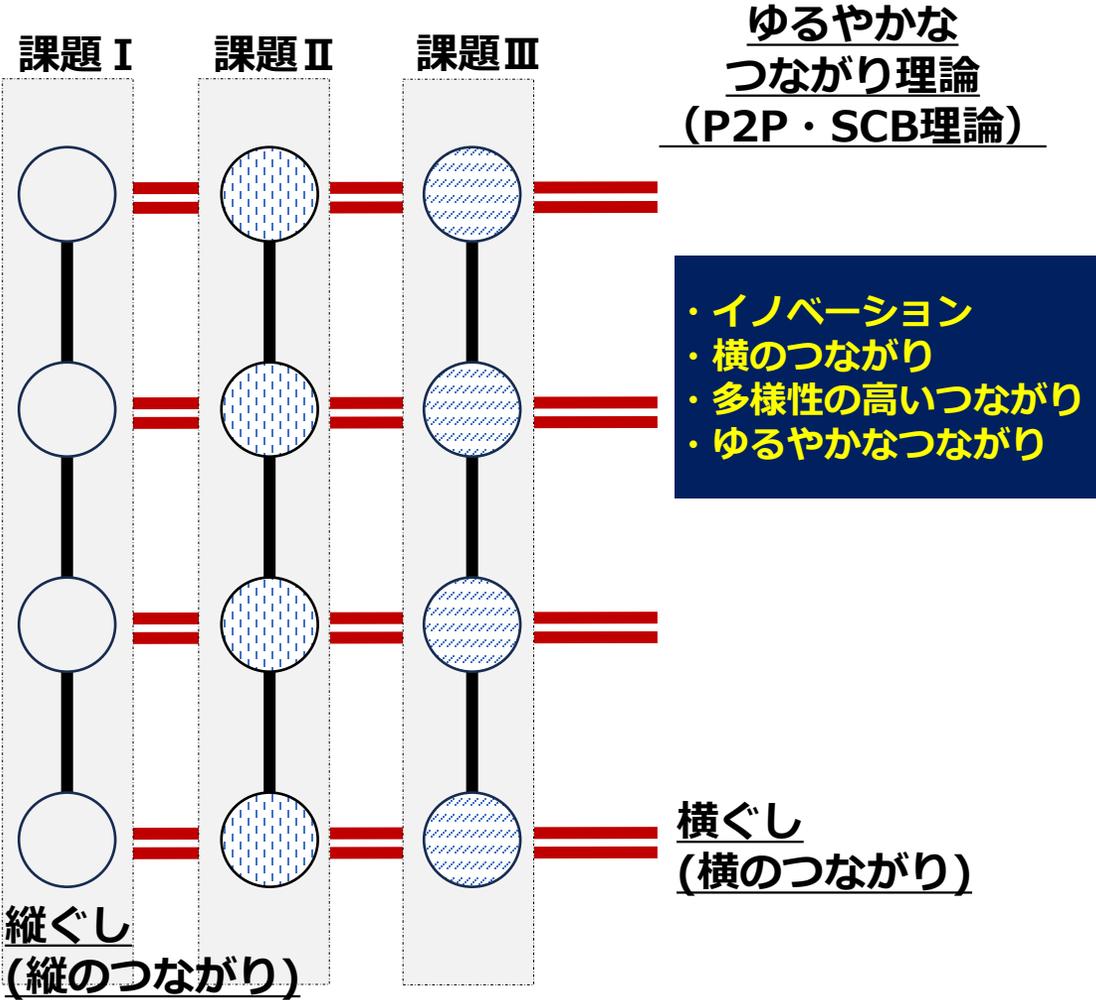
- ・イノベーション
- ・横のつながり
- ・多様性の高いつながり
- ・ゆるやかなつながり

横ぐし  
(横のつながり)

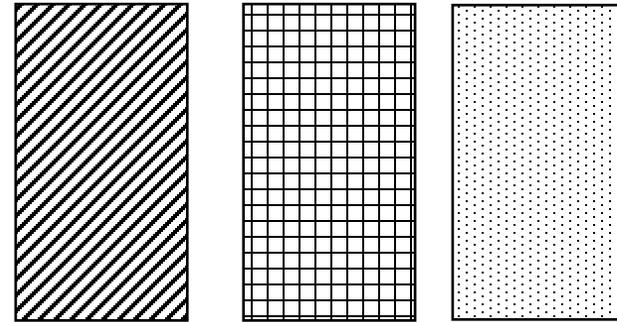
- ・課題解決
- ・縦のつながり
- ・同質性の高いつながり
- ・つよいつながり

# プラットフォーム化の効果

## 新たな価値の創発 (フレームワーク)



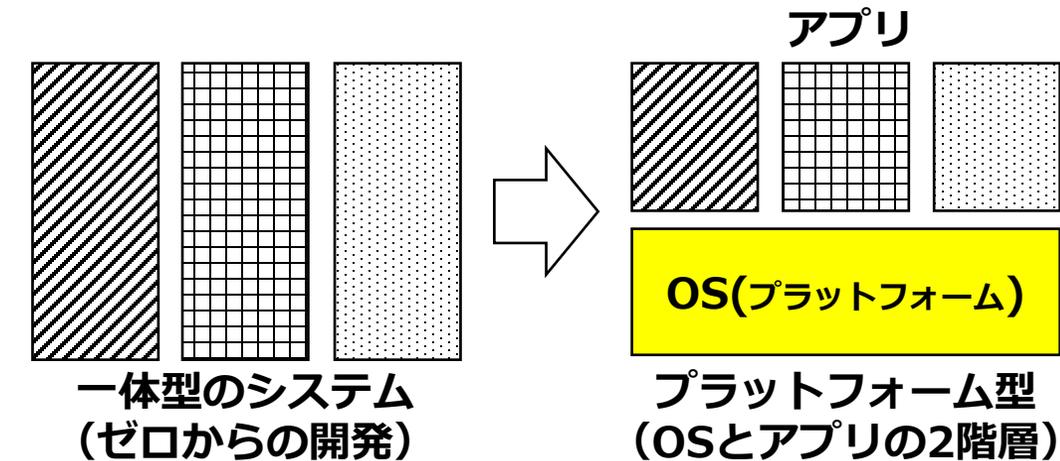
## 課題解決の活動



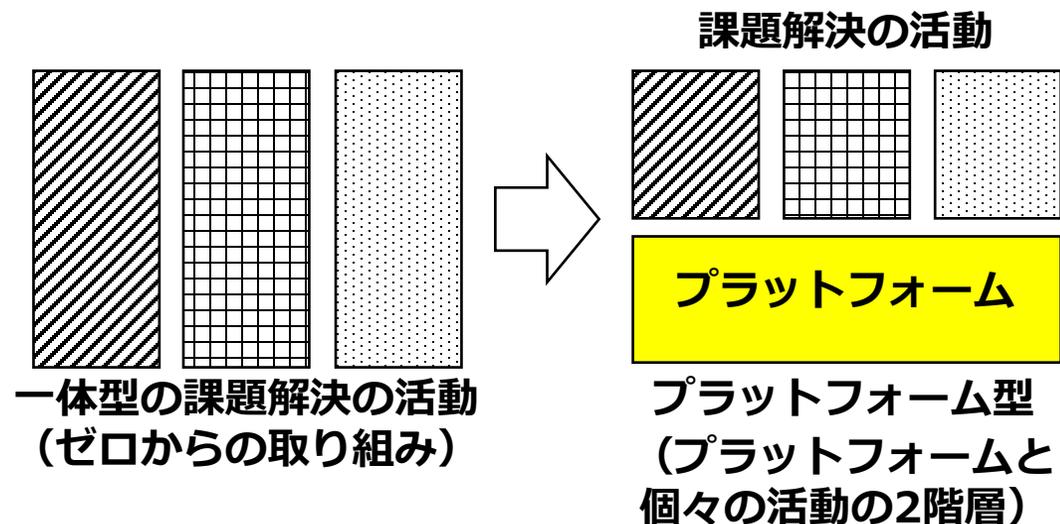
プラットフォーム型  
(プラットフォームと  
個々の活動の2階層)

- 課題解決の低コスト化・効率化
- 活動同士の連携の促進
- 新たな価値創発 (イノベーション)
- 活動の可視化

# プラットフォームの重要性



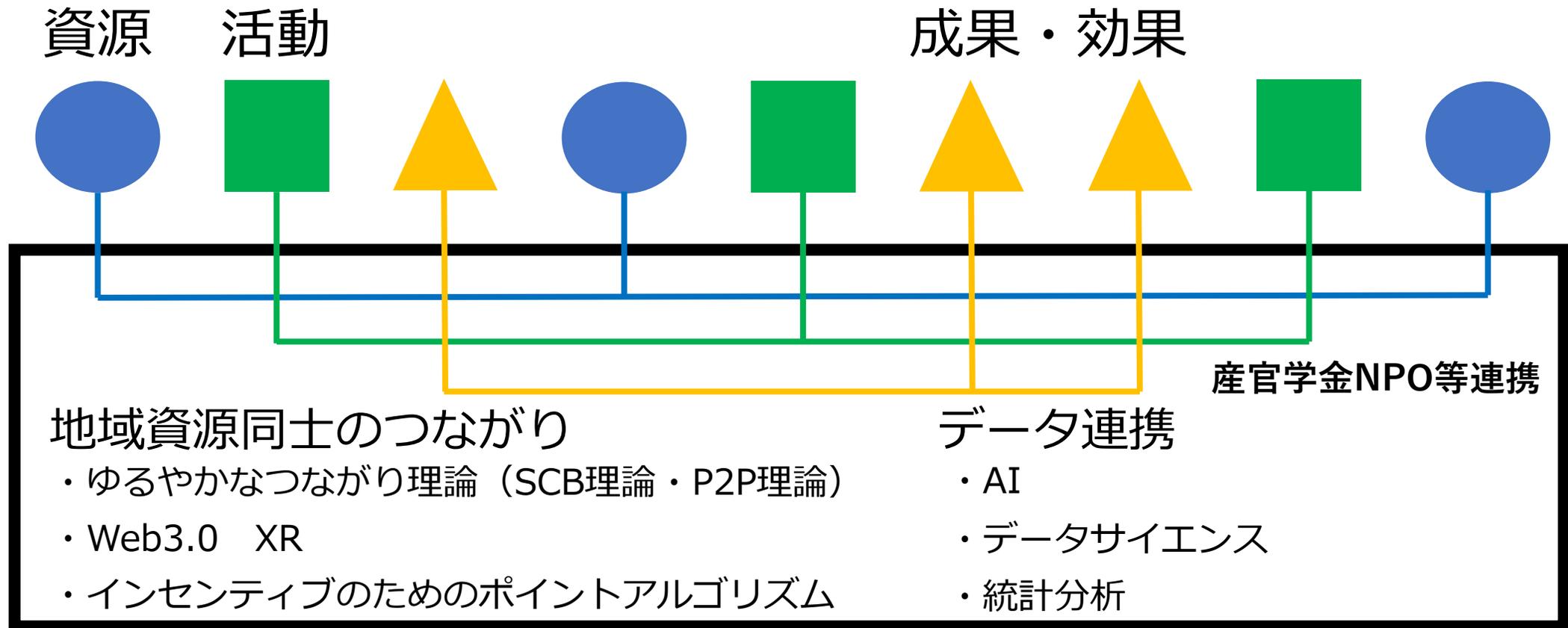
- システム開発の低コスト化（期間短縮，開発要員削減，開発費用削減）
- OSを介してアプリケーション同士が容易に連動・連携



- 課題解決の低コスト化（期間短縮、人員削減、費用削減）
- プラットフォームを介して活動同士が容易に連動・連携

# 自治体連携プラットフォームの構成

- 地域課題の効果的な解決
- 新たな価値の創発（イノベーション）



自治体連携プラットフォーム

# 3市が中核自治体として

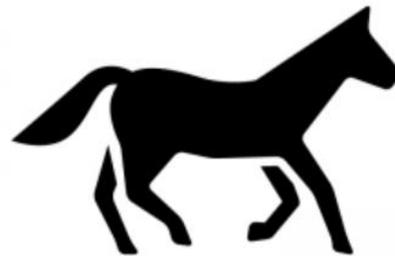
- 3市が中核自治体としてプラットフォームを構築
- 3市による合同記者会見（2025.12.24 16:30～ 阿蘇市役所）

課題解決

新たな社会的価値創発



四万十市



阿蘇市

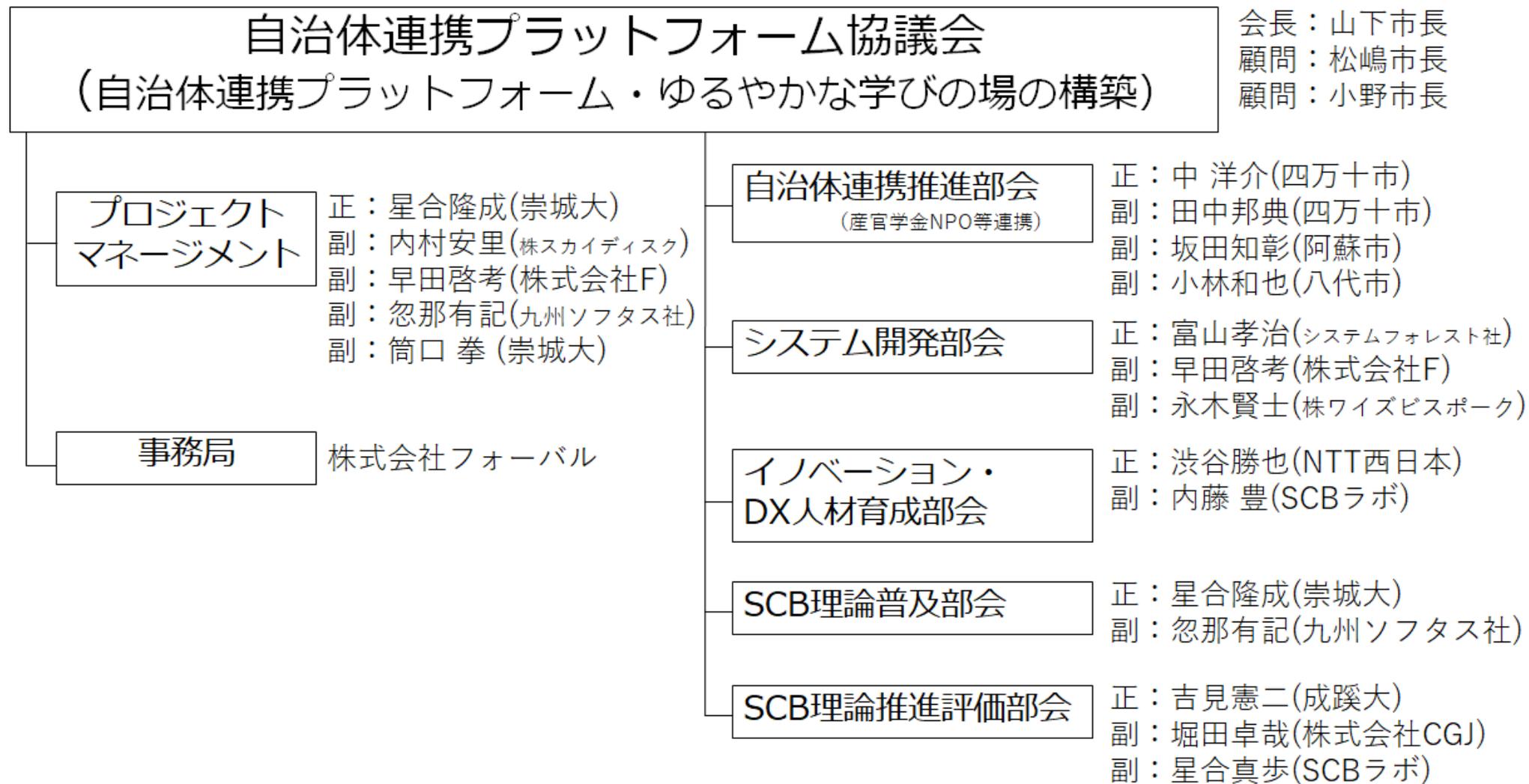


八代市

熊本市，人吉市，甲佐町，湯前町，山鹿市，静岡県松崎町，長野県飯山市  
長崎県西海市，神奈川県真鶴町，福井県高浜町 など

30自治体による自治体連携プラットフォーム

# 推進体制



# 実施計画（線表）

